

令和3年度 地域でつながる家庭教育応援事業 家庭教育応援プロジェクト 親子の学び応援講座

日時:令和3年6月25日(金) 14:00~

会場:南会津町立田島第二小学校

「メディアコントロール～スマホ・ネットと上手につきあうために～」

講師:会津大学短期大学部 産業情報学科 教授 中澤 真 氏



【講演】

スマートフォンやインターネット利用時の危険性や注意点について、特にネット依存の危険性や、ネット上に氾濫するウソの情報、有害情報から身を守るためにはどうすればよいのか、ネットの向こう側にいる見えない相手とのコミュニケーションの危険性などについてお話をいただきました。動画視聴や振り返りを交えながら進められ、児童は項目ごとのチェック問題に真剣に取り組みました。

～チェック問題(例)～

□ LINEのやりとりが楽しくて、気づいたら夜中の12時。みんなはまだ盛り上がってるけど、そろそろやめたい…どうしよう

- ① 遅くなりそうな時は、「10時までしかダメなんだ」と最初から断っておく。
- ② 抜きたいときに、だまって勝手に抜ける。
- ③ 仲間はずれにされると困るので、限界までがんばる。

□ なつかしい1年生の頃の同級生の写真。ネットにアップしていいよね？

- ① もちろんOK！本人も喜んでくれるはず！
- ② 本人に確認していないならNG！
- ③ 写真をとってから5年以上経っているから、本人に確認しなくてもOK！



【チェック問題にチャレンジ!】

『大人はいいなあ何時間やっても注意されないもん。』

「ネット依存にならないようにするために」の注意点の中に“親にもルールを守ってもらいましょう”というポイントがありました。子供たちは不公平感に敏感です。子供は親の姿を見えていますよ。

『いつまでやってるの!もうやめなさい!』

実はこのフレーズ、子供にとっても保護者にとってもストレスになっています。フィルタリングも効果がありますが、完璧な手段ではないそうです。子供を被害者・加害者にさせないためにも、家族でコミュニケーションをとり、便利さと安全性のバランスをとりましょう。

- 知識と心の両面からインターネット利用リスクを教えましょう
- 子供との対話の時間を確保しましょう
- 正しい知識を持ち、適切に判断、対処しましょう
- 実際に使ってみましょう
- 保護者間の情報交換をしましょう



【動画:ネットゲームにはまった男子】

これからの社会において、スマホやネットは必要不可欠です。子どもたちにはこれらと上手につきあい、常に相手意識を持ち、適切に表現できる力を身につけた大人になってほしいです。

白井秀行校長先生